

畜産ネットワーク ちば

2016年9月23日
第37号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

東京食肉市場まつり

2016 10月15日(土)・16日(日)
午前10時～午後4時(16日は午後3時まで)



入場無料

◆今年の推奨銘柄牛は、『チバザビーフ』

今年で35回目の開催となる「東京食肉市場まつり」は、市場を年に一度だけ特別に開放し、開催するお肉のフェスティバルです。今年の推奨銘柄牛は千葉県「チバザビーフ」で、美味しい牛肉・豚肉の販売・試食、千葉県物産の販売の他、ご家族で一日楽しんで頂ける盛り沢山のイベントが用意されています。

東京食肉市場キャラクター
トン吉&モウ太



楽しむ Enjoy

- 千葉県PRコーナー
- 「動物戦隊ジュウオウジャー」ショー
- クイズ ミート・ザ・Q
- お肉の情報館
- さまざまなイベント
- 豪華商品が当たる抽選会

食べる Delicacies

- チバザビーフしゃぶしゃぶ無料試食コーナー
- モツ煮込み無料試食コーナー
- 銘柄豚のとんかつ・焼肉
- 無料試食コーナー
- 世界の屋台料理コーナー(有料)
- 品川駅南口町会

買う Souvenirs

- 食肉・食肉加工品販売コーナー
- 千葉県物産販売コーナー
- 大田市場協会 野菜販売コーナー
- 革製品及び革小物販売コーナー
- 輸入雑貨販売コーナー
- パン等販売コーナー

◆『チバザビーフ』って？



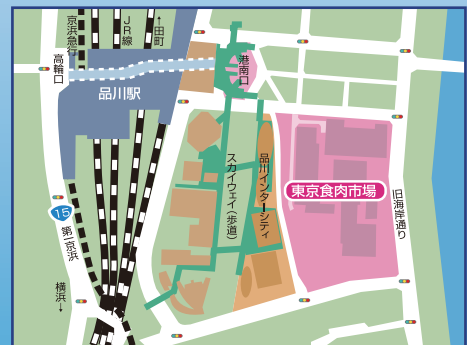
千葉県を代表する銘柄牛の総称で、最高の霜降り肉の「黒毛和牛」、肉質が柔らかくほどよい脂肪を含んだ「交雑種」など、千葉の豊かな自然のもと、手塩にかけて育てられた『うまい牛肉』です。

◆『チバザポーク』もあるよ！



千葉県産豚肉の共通名称で、安全・安心で柔らかい肉質とこだわりの旨味で各銘柄の個性が際立つ、『旨さが多彩』な豚肉です。

会場：東京都中央卸売市場食肉市場
(JR品川駅南口より徒歩3分)



主催：一般社団法人 東京食肉市場協会 共催：東京都
協賛：千葉県／東京食肉市場まつり2016 千葉県実行委員会／東京食肉市場銘柄豚協会
お問合せ先：東京食肉市場まつり実行委員会事務局 TEL. 03-3472-9259
東京食肉市場まつり2016 千葉県実行委員会事務局 TEL. 043-242-6333

目次

- 【1】東京食肉市場まつり2016
- 【2】チバザビーフ協議会報
- 【4】平成28年度定時総会開催
- 【5】平成28年度主な家畜衛生対策事業の推進状況について
肉用牛損害賠償請求
- 【6】第10回千葉県畜産フェア
- 【7】平成28年度千葉県肉豚共進会について
ふれあい体験教室開催
- 【8】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信
- 【9】ちば畜産レディースネットワーク会報
- 【10】NPC通信
- 【11】平成28年度畜産クラスター事業の執行方針について
- 【12】肉用牛肥育経営安定特別対策(牛マルキン)事業
肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業
牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？



チバザビーフ協議会報



チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。

◆産地見学交流会 (H28.5.12~13)



しあわせ絆牛のロースト

「東京食肉市場まつり2016」の一環として、まつり協賛県である本県において産地見学交流会が実施されました。

5月12日、三井ガーデンホテル千葉にて交流会が開催され、東京食肉市場関係者27名、千葉県実行員会等本県関係者29名、計56名に出席いただきました。交流会では、チバザビーフ「しあわせ絆牛」の特別料理が振る舞われました。

翌13日には、千葉県食肉公社(旭市)にて意見交換会を実施し、宮澤農産(農場:東庄町)及び(株)熱田牧場(匝瑳市)の2農場を見学いたしました。

◆チバザビーフ枝肉品評会

平成28年7月6日、東京食肉市場(株)において、第6回チバザビーフ枝肉研究会が開催されました。

【出品頭数】

【入賞者】

黒毛和種	26頭
交雑種	28頭
計	54頭

区分	最優秀賞	優秀賞	優良賞
黒毛和種の部	高梨栄一(鴨川市)	(農)宮澤農産(旭市)	実川治徳(旭市)
交雑種の部	小池幸廣(銚子市)	嶋田良雄(旭市)	越川竹晴(匝瑳市)

【今後の枝肉品評会等の開催日程】

《第6回チバザビーフ枝肉共励会(東京食肉市場まつり記念共励会)及び前夜祭》

◎日程 平成28年9月26日(月)【前夜祭】(場所:第一ホテル東京シーフォート)

9月27日(火)【枝肉共励会】(場所:東京都中央卸売市場食肉市場)

◎出品区分及び頭数(予定) 黒毛和種の部 55頭、交雑種の部 48頭 計103頭

《第7回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭》(平成29年2月20~21日、出品予定頭数:80頭)

◆平成28年度通常総会及び研修会 (H28.7.13)

マロウドインターナショナルホテル成田において、通常総会及び研修会が開催され、93名(千葉県、関係団体・企業、生産者等)の出席をいただきました。

通常総会では、平成27年度事業報告等、全4議案が上程、いずれも原案どおり可決承認され、理事の互選の結果、会長に山崎巖氏(留任)、副会長に実川治徳氏(留任)、宮澤武志氏(新任)が選出されました。(右表のとおり。)



全農山形県本部
畜産部長 佐々木さま

研修会では、昨年度、東京食肉市場まつり2015に協賛県として参加された山形県「総称山形牛の銘柄確立に向けた取組みについて」、全農山形県本部 畜産部長 佐々木さまにご講演いただきました。

また、報告事項として平成27年度に実施した「飼養管理状況調査及び血液検査の実施状況について」、千葉県畜産総合研究センター 石崎氏よりご説明いただきました。



チバザビーフPR大使
コズミック☆倶楽部

なお、今年の東京食肉市場まつり開催を見据え、千葉県産牛肉及び千葉県の魅力発信・PRを行う『チバザビーフPR大使』の任命式を併せて執り行いました。

PR大使には千葉県柏市を中心に活動するご当地アイドルの「コズミック☆倶楽部」が任命され、PR大使お披露目の場となりました。

《役員・専門部会委員一覧》

会長	山崎 巖(匝瑳市)
副会長	実川 治徳(旭市)
	宮澤 武志(旭市)
理事	関口 次敏(横芝光町)
	塙 正一(銚子市)
	宇井 正之(匝瑳市)
	江口 幸太郎(富里市)
	岩渕 義徳(旭市)
	向後 眞(旭市)
監事	篠本 正治(旭市)
	石上 信幸(銚子市)
専門部会委員	麻生 義一(大多喜町)
	伊藤 茂雄(旭市)
	熱田 寛司(匝瑳市)
	斎藤 茂樹(佐倉市)
	御子神 正義(南房総市)

◆チバザビーフフェアの及びオープニングセレモニーの開催 (H28.9.1~10.16)

「東京食肉市場まつり2016」の推奨銘柄に選ばれた、千葉県産牛肉「チバザビーフ」の美味しさ・魅力を広く伝えるため、東京都内の有名フランス料理店でチバザビーフフェアが開催されました。東京では初の「チバザビーフ」の名称が入った料理が提供されます。

フェア初日の9月1日には、メディアに向けたオープニングセレモニーが開催され、生産者やチバザビーフPR大使による千葉県産牛肉の魅力発信・PRのほか、シェフによる特別メニューの紹介や試食などが行われました。また、「チバザビーフPR大使」コズミック☆倶楽部のプロデューサー パッパラー河合さんも応援に駆け付けてくれました。

チバザビーフフェアは、東京食肉市場まつり開催の10月16日まで開催しております。この機会に是非、「うまい牛肉 チバザビーフ」をご堪能ください。



オーナーシェフ（真ん中）
PR大使、パッパラー河合さん

☆チバザビーフフェア概要

場所：ル・プティ・トノー（レストラン 2店舗）

【虎ノ門店】東京都港区虎ノ門2-1-1 商船三井ビル1F

【九段店】東京都千代田区北1-10-2 九段アークビル1F

内容：チバザビーフを使用したメニューを、ランチとディナーで提供。

☆オーナーシェフ フィリップ・バットン氏（主な経歴）



1963年 フランス、パリ生まれ。
1996年 全日本フランス人シェフの会 会長に任命され、8年間活動。また、芸術性に富んだ創作フレンチが話題を呼び、人気テレビ番組「料理の鉄人」で鉄人坂井氏に見事勝利。その後TVや雑誌等で大活躍。
1998年 フランス政府よりフランス文化を広く海外に浸透させたとして、メリット・アグリコール賞を受賞。
2001年 九段下に「ル・プティ・トノー」をオーナーとして開店。
2003年 2号店として虎ノ門店を開店。

≪ランチ≫



≪ディナー≫



※価格は消費税・サービス料込み。
はらみステーキは外国産を使用。

◆県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

<p>☆青空ワインバル (H28.5.22) 場所：千葉中央公園 協力：七輪焼肉「超力」 概要：「チバザビーフ」のローストビーフ、ステーキ、ハンバーグ等の販売。</p>	<p>☆第2回チーバくんグルメ博覧会 (H28.5.31~6.6) 場所：そごう千葉店 出店：(株)石井大一商店 概要：「かずさ和牛」のステーキ丼、ローストビーフ丼等の販売。</p>
<p>☆レッドブルエアレース 千葉フードフェスティバル (H28.6.4~6.5) 場所：千葉県立幕張海浜公園 出店：七輪焼肉「超力」 概要：「チバザビーフ」のステーキ等の販売。</p>	<p>☆千葉・房総発見伝 (H28.6.15~20) 場所：千葉三越 出店：(株)石井大一商店、一般社団法人千葉県農業協会 概要：「かずさ和牛」のステーキ丼、ローストビーフ丼等の販売。「卵の花牛」加工品の販売等。</p>
<p>☆チバザビーフ直売会① (H28.6.18~19) 場所：肉の専門店「ラ・ブシュリー」 概要：スーパーカスミ内にある肉の専門店「ラ・ブシュリー」によるチバザビーフの直売会。父の日における特別セールの一環として開催されました。</p>	<p>☆中京圏観光相談会・交流会 (H28.7.13) 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 概要：千葉県が開催する中京圏からの誘客促進等を図る商談会・交流会。千葉県産牛肉のPRのため、チバザビーフ（黒毛和牛）を提供しました。</p>
<p>☆チバザビーフ直売会② (H28.7.16~18) 場所：スーパーハヤシ 概要：スーパーハヤシによるチバザビーフの直売会。海の日・夏休みにおける特別セールの一環として開催されました。</p>	<p>☆タイフードサービス業界展示会 (H28.8.4~7) 場所：タイ バンコク BITEC展示場 協力：株式会社オーエムアイ 概要：タイにおける食品関係の国際展示会。日本「和牛」ブースにて「チバザビーフ」をPRしました。</p>

事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 総務・企画部 企画課 (担当:小倉)

TEL:043-242-6333 FAX:043-238-1255

平成28年度 定時総会開催

平成28年6月20日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の平成28年度定時総会を開催し、平成27年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認について他、3議案について承認されました。

平成27年度の畜産情勢は、飼料費を含む生産資材の高騰、労働力・後継者問題、家畜衛生対策、TPP問題等、畜産経営を取り巻く経営環境は、以前として厳しい状況にありました。

特に酪農・肉用牛生産においては、農家戸数、飼養頭数の減少が著しく、生乳生産基盤の弱体化、子牛価格の高騰により肥育経営への影響等、その対策が課題となりました。また、TPP問題につきましては、10月に大筋合意、2月に最終合意がなされ、畜産にとっては非常に厳しい交渉結果となりました。国では、国際競争力強化のため「農政新時代」を掲げ、攻めの農林水産業への転換、経営安定・安定供給のための施策等を展開し、畜産・酪農の収益力、生産基盤の強化を推進していくこととなりました。

このような状況にあって、当協会は「公益社団法人」としての社会的使命・役割を十分に認識し、県民・消費者と畜産経営者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、安全で信頼される県産畜産物が安定的に供給されるよう、畜産経営安定対策や家畜・畜産物の衛生対策、飼養管理や経営技術指導等による生産性の向上、畜産及び畜産物への理解醸成・消費拡大事業等、様々な事業に取り組んでまいりました。

また、ナイス・ポーク・チバ推進協議会等、10団体の事務局を務め、生産者、関係機関・団体等との連携・協力を得ながら円滑な団体運営・効率的な事業推進に努めてまいりました。

なお、協会運営が極めて厳しいことから、職員の削減及び給与削減等運営経費の節減や事務の効率化に努めてまいりましたが、畜産クラスター事業の窓口団体になり、業務量の大幅な増加が見込まれたことから、畜産クラスターの主力職員として県OBを1名採用いたしましたので、より一層の経費節減や事務の効率化に努め、生産者支援に支障のないよう努めてまいります。

役員改選の結果は、別表のとおりです。（総務課 武田）

＝公益社団法人千葉県畜産協会 役員名簿＝

※平成28年6月20日現在

役職名	氏名	所属団体・役職名等	
会長	森 英介	一般社団法人千葉農林水産統計協会	会長
副会長	石橋 新四郎	千葉県酪農農業協同組合連合会	代表理事会長
副会長	磯野 光彦	全国農業協同組合連合会千葉県本部	県本部長
副会長	明智 忠直	旭市	市長
副会長	長谷川 隆	千葉県農業共済組合連合会	家畜部部长
副会長	島田 栄雄	千潟種豚組合	
専務理事	鈴木 邦夫	公益社団法人千葉県畜産協会（学識経験）	専務理事
理事	水越 義則	農林中央金庫 千葉支店	支店長
理事	岡田 望	千葉県農林水産部畜産課（学識経験）	畜産課長
理事	星野 俊一	千葉県肉牛生産農業協同組合	代表理事組合長
理事	石神 嘉明	ちばみどり農業協同組合	常務理事
理事	佐藤 義男	かとり農業協同組合	指導経済担当常務
理事	山根 晃	公益社団法人 千葉県獣医師会	会長
理事	石井 裕	南房総市	市長
理事	蜂谷 良一	千葉県家畜商協同組合	理事長
理事	塩澤 英一	ナイス・ポーク・チバ推進協議会	会長
理事	平野 拓歩	農事組合法人 千葉スワイン	監事
代表監事	能城 勝	千葉県農業協同組合中央会	専務理事
監事	斎藤 昌雄	千葉市畜産協会	会長
監事	伊藤 富治	一般社団法人千葉県配合飼料価格安定基金協会	理事長

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

平成28年度 主な家畜衛生対策事業の推進状況について

畜産協会では畜産農家自らが行う防疫活動に対して、市町村家畜防疫会、関係機関・団体・業者の皆さんのご協力のもとに、各種支援事業の推進にあっております。

今回、その主な家畜衛生対策事業として「牛マイコプラズマ性乳房炎対策」と「豚オーエスキー病清浄化対策」についてお知らせいたします。（専務理事 鈴木）

【牛マイコプラズマ性乳房炎対策】

本事業は、（公社）中央畜産会からの委託事業として平成27年度から平成29年度までの3年間計画で実施しています。

牛マイコプラズマ性乳房炎は、非常に伝播が強く、集団発生し、発症すると乳量が激減若しくは症状が重篤化すると泌乳停止になることもあり、難治性で廃用率が高く、経済的損失の極めて大きい疾病です。

そのため、最近の酪農状況からしても、疾病による経済的損失を防止することは、喫緊の課題となっており、本病の清浄化に向けた実効性の高い継続的対策と普及推進を目的に、千葉県を含め全国9道県が本事業に参加し、調査を実施しています。

◇平成27年度は、バルクスクリーニング検査として、1,111農場を対象に実施。
◇千葉県では、これまでに99農場の検査を実施し、全て陰性。

【豚オーエスキー病清浄化対策】

豚オーエスキー病の清浄化対策につきましては、平成20年度に対策指導が強化され、国が策定した防疫対策要領に基づき、汚染地域のワクチン接種の徹底、種豚全頭検査による清浄度の確認、陽性豚の摘発・とう汰を推進してきており、本県においては、あと少しというところまで清浄化が進んできております。

このため、平成28年度はオーエスキー病の早期清浄化を目指し、国、県事業に加え協会補助事業を活用し、重点的にワクチン接種の徹底、感染豚の摘発・早期とう汰の推進を図っておりますので、養豚農家並びに関係機関のご理解、ご協力をお願いいたします。

豚オーエスキー病ワクチン接種状況（H28：8月末現在）

（単位：頭）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	小計
H28	119,490	125,370	118,460	121,480	110,670	595,470
H27	128,460	130,270	113,840	139,910	125,520	638,000
対比	93%	96%	104%	87%	88%	93%

肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会会長 山崎 巖

第10次肉用牛損害賠償請求をもって肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終了し、第11次から第17次請求まで検査費用の請求を行ってきました。

第18次以降の請求については、検体代と検査料を合わせて請求する内容（様式：A票）となっておりますので、よろしく願いいたします。

なお、これまで請求の際に添付書類として領収書がない場合、請求書でも可としてきた部分がありましたが、出金が確認できる書類にさせていただきたいと東京電力から依頼がありました。

これまでの経緯につきまして山崎会長へ報告、検討した結果、領収書又はこれに代わり出金が確認できる書類（清算書等）を添付することとなりましたので、今後の肉用牛損害賠償に係る請求書を作成する際には、お間違いのないようお願いいたします。

また、平成28年9月14日付けで第21次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします。（事務局 飯沼）

区分	請求対象期間	請求金額	請求者数	請求日	
請求中	第21次	平成28年4月～6月	11,790千円	60名（164名）	平成28年9月14日
	検体代2-2	平成23年7月8日～平成27年6月30日	8,283千円	43名（164名）	平成28年7月28日

区分	請求対象期間	請求金額	請求者数	最終支払日	
確定済	第19次	平成27年10月～12月	14,231千円	72名（164名）	平成28年9月2日（1名除く）
	第20次	平成28年1月～3月	12,444千円	72名（164名）	平成28年9月7日（1名除く）
	検体代1-1	平成23年7月8日～平成27年6月30日	15,615千円	79名（164名）	平成28年7月22日（2名除く）
	検体代1-2	平成23年7月8日～平成27年6月30日	13,175千円	19名（164名）	平成28年8月15日
	検体代2-1	平成23年7月8日～平成27年6月30日	6,286千円	35名（164名）	平成28年8月15日

第10回千葉県畜産フェア

10月22日(土)は船橋競馬場へ!!

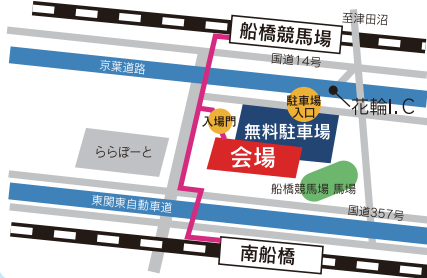
入場無料

11:00~15:00

会場／船橋競馬場

電車 京成 〔船橋競馬場駅〕下車 徒歩5分
JR 〔南船橋駅〕下車 徒歩10分

車 花輪 I.C. から車で5分/駐車場有
(640台・当日無料)



千葉の畜産を
『食べよう』『話そう』『知ろう』!



はしご車や乗馬など普段は出来ない貴重な体験ができるコーナーや、焼肉、はちみつなど地元千葉県産の「美味しいもの」を味わえる店舗がいっぱい

畜産物・農産物の販売

豚・牛焼肉、豚しゃぶ、フランクフルト、乳製品、卵・厚焼玉子、スイーツ、はちみつなど千葉県内でとれた畜水産物を販売。

畜産フェア大抽選会

畜産フェア内のお店でお買い上げ毎にもらえる抽選券もしくはスタンプラリーチャレンジで豪華畜産品等が当たるチャンス!! 隠れイベントもあるよ!!

※販売や抽選など、時間内に終了・売切の際はご容赦ください。



ライブステージ①

1回目 11:30~11:50
2回目 13:00~13:20

千葉県柏市を拠点に活動する、モデル系ご当地ユニット

『コズミック☆倶楽部』によるステージ



ライブステージ②

1回目 12:00~12:30
2回目 13:30~14:00

『酪農家劇団 須藤兄弟』によるステージ
酪農家の実情をコミカルに描く劇は必見!

同時開催

ふれあい広場

騎手イベント、乗馬体験、はしご車体験など。



主催	(公社) 千葉県畜産協会 千葉県畜産物消費拡大推進協議会 千葉県畜産フェア実行委員会	後援	千葉県 船橋市
協賛	千葉県酪農農業協同組合連合会 千葉県家畜商協同組合 全国農業協同組合連合会千葉県本部 (株) 千葉県食肉公社 千葉県全日本畜産経営者協会 千葉県農業共済組合連合会 ナイスポークチバ推進協議会 (一社) 千葉県農業協会 千葉県食肉事業協同組合連合会 千葉県肉牛生産農業協同組合 JA東日本くみあい飼料(株) 千葉北部酪農農業協同組合 キリンビバレッジ(株) 堀江ファーム 林SPF 房総ポーク販売促進協議会 (一社) 千葉県配合飼料価格安定基金協会 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター	協賛	(公社) 千葉県獣医師会 千葉県卵業協会 (株) シェフミートチグサ 千葉県牛乳普及協会 チバザビーフ協議会 若潮牛振興協議会 千葉県肉牛肥育研究会 食育ネット(株) 船橋市畜産協会 千葉県養蜂協会 千葉県酪農農業協同組合 船橋市漁業協同組合 奈良養鶏 卵の花牛

お問合せ先

千葉県競馬組合

船橋市若松1-2-1

TEL: 047-431-2156

(公社) 千葉県畜産協会 千葉市中央区新宿1-2-3

TEL: 043-242-5417

平成28年度千葉県肉豚共進会について

本年度の千葉県肉豚共進会は、下記のとおり開催いたします。なお、10月6日（木）、10時30分より『ジャッジングコンテスト』といたしまして、来場していただいた生産者を対象に、1類2頭組の最終審査に残った11点の中から優良な枝肉1点を選んでいただき、最優秀賞を的中させた方に景品を贈呈いたします。

また、上位入賞枝肉につきましては、名誉賞 1000円/kg増し、優等1～2席 100円/kg増し、優等3～5席 50円/kg増しのとおり、買い増しをいたします。

皆様のご来場をお待ちしております。（生産課 金杉）



平成27年度農林水産大臣賞
香取市 宇野 重光氏 出品

◎日程 平成28年10月4日（火）～6日（木）	◎会場 （株）千葉県食肉公社（旭市鎌数）
10月4日（火） 搬入	◎出品 220頭（予定）
10月5日（水） 審査	
10月6日（木） 展示講評（11時～） 褒賞授与式（13時30分～）	

★ふれあい体験教室開催★

平成28年9月11日、千葉県立北総花の丘公園（印西市）にて、消費者に畜産の生産現場や畜産の果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進を図るため、（株）シェフミートチグサのご協力のもと、第7回となる親子手作りウィンナー教室を開催しました。

体験教室へは12組26名の参加があり、美味しく出来上がったウィンナーに大変満足しているようでした。

また、室外では千葉県農業協会の出展による千葉県産豚肉を使ったしゃぶしゃぶやフランクフルトの販売が行われ、体験教室と併せて千葉県産畜産物を消費者にPRする場となりました。（総務課 榎屋）



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 平成28年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

平成28年度通常総会が6月23日（木）午後1時30分から千葉市中央区の千葉市生涯学習センターに於いて69名の出席（委任状を含む）と来賓13名のご参席のもとに開催されました。

高梨副理事長の進行により松田理事長挨拶、ご来賓からは千葉県農林水産部畜産課 課長 岡田 望様、公益社団法人千葉県畜産協会 事務局長 福島 達哉様のご祝辞をいただいた後、理事長が議長にされて議案説明され、すべての議案が原案どおり承認可決されました。

今年度は当NPO発足後10年の節目の年ですが、この間、取扱う事業量の増加や多角化とともに会員数も当初の1.5倍に増え、当会の認知度も大きく前進してまいりました。公募や委託事業など今後とも増加が予測されるこれら社会需要に迅速かつ機動的に対応できるように、家畜飼養、衛生環境ばかりでなく畜産経営全般にわたる会員の指導力向上に努めてその支援を充実させてまいります。

また、県や関係機関が取り組んでいる発酵TMRの調査研究や6次産業化の普及推進に積極的な支援をするほか、生産者と消費者・学校等との交流事業を実施し、消費者の畜産理解と消費の拡大を推進し、児童生徒に家畜と触れあう情操教育の場を提供します。

総会終了後の畜産研修会では、千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 室長 井出 基雄氏（演題1「本県の畜産振興施策」）、千葉県畜産総合研給センター主任上席研究員 江森 格氏、研究員松本 干明氏（演題2「新系統豚ボウソウL4・系統豚の組合せ検定試験」）をお招きしてご講演をいただきました（出席者51名）。

最新の予算動向に基づく畜産振興施策の数々がわかりやすく紹介され、大変有意義な研修会でした。

2. 役員会

平成28年8月4日（木）午後1時30分から畜産協会会議室において千葉県農林水産部畜産課 島田主幹ご臨席のうえ、28年度事業の具体的な推進方策を協議しました。

(1) 農場HACCP構築支援指導 委託（公益社団法人中央畜産会）

本事業は公益社団法人千葉県畜産協会から事務の一部を受託し、県内へ農場HACCPの普及推進を図るために指導員を育成、派遣しており、県内畜産農家への更なる普及と現在取り組んでいる農家への内部検証等、飼養衛生管理強化向上の支援に努めています。

現在、25農場（酪農2、養豚20、採卵鶏3）を推進している状況を事務局から報告しました。当会では12名の指導員がそれぞれ複数体制で指導にあたっていますが、農場HACCP指導員資格を得て畜産農家の支援に取組みたい方は事務局までご連絡ください。

(2) 平成28年度死亡牛等の受入及び保管等補助業務 委託公募（千葉県）

中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務の補助で、昨年度途中から受託しています。現在4名の会員の協力を得て円滑に実施されています。

(3) 平成28年度食品の安全・消費者の信頼確保対策事業 公募（農林水産省）

地域での農場HACCPの取組農家へ指導員を派遣し、その経費の2分の1を補助する事業で、今年度から新規で実施しています。現在までに4農場（酪農1、採卵鶏2、ブロイラー1）が取組を始めており、参加農場を追加募集しています。

(4) 平成28年度ちば農商工連携事業計画作成及び実施の支援 公募（県団体）

6次産業化を実施または目指している畜産農家へ専門家を派遣し、農商工の連携を図って畜産製品の商品訴求力強化、マーケティングの支援、商品ラベルデザイン等、販売力アップを支援する事業で今年度の新規で実施しています。先般、事業説明会を開催して参加募集を開始したところです。

(5) 畜産研修会

千葉市内等で年2回の開催を計画（第1回は6月23日に実施済み）しており、来年2月にNPO発足10周年記念講演会の開催を検討しています。

(6) その他の事業

①人材紹介

千葉県立農業大学校へ12講座の非常勤講師を紹介しました。当NPO会員の活躍の場を広げるため今後とも各方面への人材紹介に努めてまいります。畜産に関する豊富な経験と知識を有する人材のご要望がありましたら業態の如何にかかわらず当NPOまでご連絡ください。

②消費者交流・動物情操教育

（公社）千葉県畜産協会や千葉県馬事畜産振興協議会が実施する畜産フェア及びその他の催しに参加し、

消費者に畜産を正しく理解してもらうための広報に努めることとしました。

③調査・試験研究事業

行政機関や研究機関、畜産団体等からの調査研究事業を積極的に受託、または協力・支援に努めることとしています。今年度は（公社）千葉県畜産協会のエコフィード・発酵TMRコーディネート事業に3名の会員がコーディネーターとして協力しています。また、野生獣衛生体制整備緊急対策事業など実施団体の要請があれば積極的に支援していくことになりました。

◎畜産フェアに出展します！！

10月22日（土）に船橋競馬場で開催される“千葉県畜産フェア”に当NPOが出展し、「畜産なんでも相談コーナー」を開設します。また、HACCPに関する消費者アンケートなどを実施する予定です。会員の参加者を募集します（交通費実費支給）。

◎農場HACCP構築希望農家を募集しています

当NPOでは平成28年度新規事業（地域生産衛生高度化事業）の実施にあたり、農場HACCPの構築を希望する農家のご参加を募集しています。

○事業の内容

農場HACCP認証の取得に向けて指導員を派遣し、各農場に即した体制や文書・記録づくりを支援します。

○事業費（農場負担）

構築指導費：技術指導料5万円×指導回数10回×補助率1/2=25万円（1農場） 推進会議費：若干額

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（（公社）千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第20号

モ～モ～フ～フ～コケッコ～

千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 総会・薔薇の宴・情報交換会の開催

平成28年5月25日（水）に、昨年と同じく東金市にあるエストーレホテルにて盛大に開催されました。

【総会】

会員12名、来賓を含め24名の出席のもと、上程された3議案はいずれも可決承認されました。いつもと違う部屋での開催となりましたが、天井の高い光のたくさん入る明るいお部屋でした。

【紫陽花の宴】

紫陽花の宴では、ホテルの料理に加え、
○柴さんお手製チャーシュー ○堀江ファームのハム ○大松農場の卵を使ったオムレツが並び、豪華なビュッフェとなりました。

【情報交換会】

情報交換会で恒例の1分間スピーチでは、会員の方の結婚報告などの嬉しい報告もあり、心の温まる素敵な会となりました。



薔薇の宴の料理



情報交換会の司会のおふたり

2 農山漁村いきいき研修会への参加

平成28年7月13日（水）に、千葉市民会館で行われた農山漁村いきいき研修会へ参加いたしました。今年度は、地震の被災地で、奮闘しながら復興へとがんばっておられる話を聴き、まだまだ私たちも頑張らなくてはいけないと、活力の湧く講習でした。研修会後には役員と講師の方との情報交換会もあり、実際の詳しい話なども伺うことができ、充実した研修会となりました。

活動予定

◆千葉県畜産フェアへの参加

平成28年10月22日（土）、船橋競馬場にて開催される千葉県畜産フェアに今年も出展いたします。「ミルクくずもち」の実演、販売を行いますので会員の皆様のご参加をお願いいたします。（事務局 長嶋）



N P C 通信

ナイスポークチバ推進協議会



1 県産豚肉消費拡大《船橋ベースボールドリームプロジェクト》

イースタンリーグ公式戦in船橋に参加（2016.5.21）

2015年より船橋市で初となるイースタンリーグ公式戦、千葉ロッテマリーンズ主催による事業「船橋ベースボールドリームプロジェクト」がスタートした。この試合は船橋市、船橋市教育委員会と連携しての事業で、地元船橋市の小中学生を対象に公式試合へ無料招待し、プロ野球選手の質の高いパフォーマンスの中から夢や希望を持ってもらい、スポーツを通じて市内青少年の健全育成の支援や地域貢献に寄与することを目的としている。ナイスポークチバ推進協議会は昨年同様これに協力し、千葉県産豚肉の消費拡大推進を図った。真夏を感じさせる太陽のもと生産者、関係者20名が参加し県産豚肉60kgを焼肉として格安販売。売上金は熊本震災義援金として対応した。



試合は千葉ロッテマリーンズ対北海道日本ハムファイターズの試合に際し、協力団体としてファーストピッチングセレモニー

（始球式）を養豚生産者のご子息が務めた。

3時間程度の消費者交流であったが千葉県が全国第3位の豚肉生産県であることと、豚肉の美味しさを感じて頂ける良き機会となった。



2 養豚チェックオフ法制化を求め地元国会議員へ要請（2016.9.9）

（一社）日本養豚協会（JPPA）からの依頼を受け、地元選出で自民党養豚農業振興議員連盟の先生方及び日頃養豚にご理解を頂いている国会議員を含め6名の先生へ「養豚チェックオフ法制化」を求め要請を行った。

○養豚チェックオフの法制化

国産豚肉を守る活動を目的として、養豚生産者全てを対象として豚を出荷するごとに一定額を徴収する。これがチェックオフ。

諸外国ではすでにチェックオフを実施 海外の生産者は自分たちの資金で国内での消費拡大とともに輸出促進のため、海外での消費拡大の宣伝活動をする。



白須賀 貴樹 衆議院議員



前経済産業大臣 林 幹雄 衆議院議員



農林水産副大臣 齋藤 健 衆議院議員

豊田 俊郎参議院議員は、公務出張のため面談できませんでしたが、今回自民党養豚農業振興議員連盟に加盟されたこともあり、要請内容について力添えをお願いした。



森 英介 衆議院議員



猪口 邦子 参議院議員

○チェックオフによる主な活動

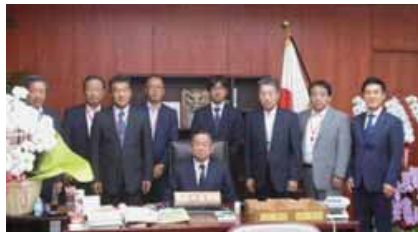
- ① 国産豚肉の消費拡大及び食育推進事業
- ② 地域防疫推進事業
- ③ 養豚研究・教育・セミナー開催事業

3 JPPAによる山本農林水産大臣への要請（2016.9.12）

（一社）日本養豚協会（JPPA）志澤会長、星会代行、香川筆頭副会長、菅谷副会長他幹部は、9月26日から開催される秋の臨時国会を踏まえ、山本有二農林水産大臣を訪問し要請を行った。（事務局 加藤）

○要請内容

- ① TPP関連法案・豚マルキン事業の充実・実現
- ② チェックオフ制度法制化・加工品の原産地表示
中食、外食分野にも表示義務を拡大
- ③ 畜産クラスター事業の更なる予算確保



平成28年度 畜産クラスター事業の執行方針について

平成28年度畜産クラスター事業の執行方針については、下表のとおりとなっております。（生産課 金杉）

28補正（685億円）			
基金分：222億円 〔目：事業費補助金〕		一般分（公債対象経費等）：463億円 〔目：地方公共団体整備費補助金〕 〔目：地方公共団体事業費補助金〕	
一般枠 （機械導入） （実証調査）	肉・酪重点化枠 100億円 （施設整備） （機械導入） （実証調査）	一般枠 388億円 （施設整備）	中山間枠 50億円 （施設整備）
		輸出枠 25億円 （施設整備）	

基金として執行

年度内執行（交付決定）

1 基金分の取扱いの留意点
① 基金として執行（複数年度事業も可）
② 施設整備は、肉・酪重点化枠のみで対応
2 肉・酪重点化枠の取扱い
① 枠内で、総合評価、現行水準、目標水準により優先順位の高い取組から割当
② 枠内で割当ができない場合であっても、一般分での再審査は行わない（まとまった取組として支援）
3 要望調査の実施
2回に分けて要望調査を実施予定 （一回目は年内に実施）

1 一般分の取扱いの留意点（各枠共通）
① 施設整備（家畜導入含む）のみが対象
② 一般分については、年度内執行が必要
③ 単年度事業として実施（複数年度事業は不可）
④ 肉・酪重点化枠以外の施設整備については、一般分で要求のこと
2 中山間枠・輸出枠の取扱い
① 両枠ともに、枠内での優先採択を実施
② 枠内で割当ができない場合には、一般枠にて審査
③ 要望額が枠に満たない場合の枠の残額は一般枠として取扱う
3 要望調査の実施
2回に分けて要望調査を実施予定 （いずれも年内に実施。1回目約8割、2回目約2割を予定）

○第3回要望調査の提出期限については、下表のとおりです。

	施設整備事業 （中山間・輸出拡大含む）	肉用牛酪農重点化枠 （ソフト・ハード・リースー一体型）
県段階提出先	畜産課企画経営室（各農業事務所 企画振興課経由）	
県段階提出期限	9月30日（金）	10月14日（金）

肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業

平成28年4～6月期においては補填金の発動がありませんでしたが、毎月払いは継続して実施されておりますので、個体登録申込、販売・異動の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。

また、牛マルキン事業では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりません。繁殖雌牛や種雄牛を申し込んだ場合については、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。報告を怠ると補填金交付契約が解除される場合がございますのでご注意ください。（企画課 小倉）

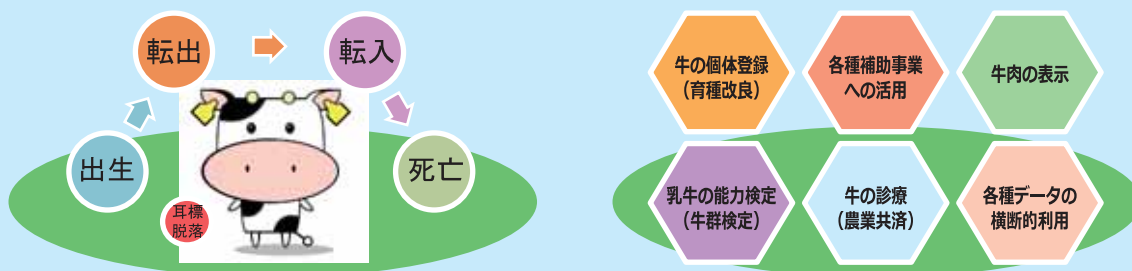
肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金及び繁殖経営支援交付金については、発動のない状況が続いておりますが、個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。（企画課 武田）

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

- ◇牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。
- ◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。
- ◇さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。
- ◇牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
- ◇牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



**「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。**

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。
地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

●問い合わせ先：審査部登録課 TEL:03-3583-2142 URL <http://www.keiba.go.jp/>

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	